

## はじめに

フェイスを主人公とし、依頼人の一族の宝を落札するため上流階級の集うオークションに挑むシナリオです。オークションまでの猶予は三日間。限られた予算と交渉術を駆使し、入念に準備を整えなくてはなりません。

このシナリオはシャドウランにある程度慣れたプレイヤーを対象としています。NPCとの交渉を軸に展開していくため、プレイヤーのアイデアが重要となるシナリオです。一方で戦闘難易度も決して低くないため、バランスの良いチーム構成が求められます。

セキュアな施設に立ち入るシーンが複数発生します。ピストルやアーマーベスト、アクシオニア・ビジネス・クロス等の護身用として通用する装備を別途用意することを強く推奨します。

- 必要時間: 約15～20時間（オンライン・テキストセッション）
- 推奨人数: 4～5人
- 備考: DP12～15のフェイスが最低1名は必要

## シナリオ背景

ヴァシオン・アイランドに所属する新進気鋭のデザイナー「ヴィヴィアン＝ハーグ」。サーリッシュ・シーの著名な戦士の末裔である彼女は、西部開拓時代に入植者によって奪われて以来行方のわからなかった一族の宝「ナイト・オルカのケープ」の所在を突き止めました。それはゴーストダンス戦争後の返還交渉からこぼれた数多の個人所有物の一つで、政治的配慮から本国のお偉方も蒸し返すつもりのない代物です。ヴィヴィアンはケープを所有する考古学者シーファー博士にランナーを通じて買取交渉を持ちかけましたが、彼女の腹違いの弟「スクイント・ウルフ」がこの行動に激怒しました。戦士の末裔ともあろうものが、白人に奪われたものを金で買い戻すのは許しがたいことだったのです。

交渉当日、ウルフとその仲間の手によりシーファー博士は殺害されてしまいます。所有者を失った所蔵品は競売にかけられることとなりましたが、彼らはなおも諦めず、オークションを襲撃してこれを奪おうと目論んでいます。会場の警備は極めて厳重で、実行されれば双方ともに最悪の結末を迎えるでしょう。一族の名誉を守るため、そして弟の身を案じて、ヴィヴィアンはランナーたちに一縷の望みを託します。

競合相手は企業のエグゼク、ヤックの親分、その他大勢のセレブたち。口八丁手八丁でライバルを出し抜き、競売品を落札しなくてはなりません。

# NPC一覧

データについては「NPCデータ(銀の弾丸を放つのは…)」のPDFシートを参照してください。

## ヴィヴィアン＝ハーグ

種族:ヒューマン 性別:女性 年齢:29

大手アパレルメーカー「ヴァション・アイランド」の売れっ子デザイナー。

コーストサーリッシュ(シアトル・バンクーバー島の沿岸部に生活圏を持つサーリッシュ族)の少数民族出身で、故郷プレマートの伝説的な勇者「ナイト・オルカ」の子孫です。

先天的なオーラ擬態術の能力を受け継いでいたことがV・Iの親会社ミツハマの目に留まり、

治験データの提供と引き換えにデザイナーとして躍進するチャンスを得ました。

腹違いの弟ウルフに対しては負い目を感じると同時に、自分よりも戦士の血が濃い彼にコンプレックスを抱いています。

## スクイント・ウルフ

種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:27

サーリッシュ・シーの退役軍人で覚醒者、最終階級は二等軍曹。

ヴィヴィアンの父が愛人に産ませた隠し子で、姉以上のオーラ擬態の能力を持っています。

軍では優秀な狙撃手として知られていましたが、行き過ぎた白人軽視など思想・素行面に問題があります。

国境警備中の戦闘で利き腕を失い軍を退役。ヴィヴィアンの支援を断り義肢のハンターとして生計を立てていました。

白人に金を払ってケープの返還を乞う姉に失望し、自らが所有者＝真の勇者の末裔になろうと行動に出ます。

## スクイント・ウルフの仲間

### ロックヒル

種族:オーク 性別:男性 年齢:28

陸軍時代のウルフの同僚。

ハウリングゴヨーテの信奉者で、対UCAS主戦論者です。

### レイヴンアイ

種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:30

フリーランスのセキュリティ・スパイダー。

無差別テロを題材としたマトリックスゲームを

製造・販売し公開停止処分を受けています。

### ブランチウッド

種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:26

SINレスの傭兵。

アマゾニア戦争で白人市民の虐殺に関与した疑いあり。

### シングマン

種族:エルフ 性別:男性 年齢:23

プレマートン猟区の動物管理官で偏位魔法使い。

偏位の劣等感から白人排他主義に傾倒しています。

## オークション参加者

### ジョン＝シーファー

種族:ヒューマン 性別:男性 享年:67

アメリカ先住民史が専門の考古学者。

ウルフらに襲撃されランナーの目の前で殺害されました。

### ウォーレン＝ドワイト

種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:43

オークション参加者。項目参照

### タジマキ＝ブンゾウ

種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:68

オークション参加者。項目参照

### コンスタンス＝エメット

種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:53

オークション参加者。項目参照

# オープニング: 屈辱の日

## シーン描写

早朝のタコマ・ベイエリア、ピュージェット湾を臨む静かなオープンカフェ。  
朝靄にけぶるウトラメール(外地)の島々を尻目に、ランナーたちは依頼人を待っています。  
新進気鋭のファッションデザイナー、ヴィヴィアン＝ハーグ…ネイティブネーム「フォレスト・フォーン(森の子鹿)」。  
それが「前回」調べのついた依頼人の経歴。そう、彼女と会うのはこれが初めてではありません。

——遡ること三週間前。優秀なフェイスを探していたヴィヴィアンは伝手を頼って(フェイス)に接触してきました。  
依頼内容は「とある考古学者の手に渡った祖先のケープを買い取る」こと。報酬は買取差額の5%。  
裏取りの過程で「競合相手」の情報を耳にした(フェイス)は、アドレス帳から信頼できるメンバーを選び、  
交渉相手「シーファー博士」の待つシーフードレストランへと向かいました。

どよめくホール。砕け散るワイングラス。床にぶちまけられたカトラリー…。  
交渉相手のシーファー博士は眼前で頭に風穴を開けられ、スープの皿に突っ伏しています。  
そして襲撃者のホールドアウトが、次の獲物として(フェイス)の心臓に狙いを定めます。

## 詳細

導入シーンは本編の3週間前。タコマのレストランで交渉中だったランナー達が襲撃を受けたところから始まります。  
交渉相手のシーファー博士はホールドアウトによる初撃を浴び即死。  
襲撃者(スクイント・ウルフの一味)は撤収のついでとばかりにフェイスを殺害しようとします。

現場はドレスコードのあるレストランで、敵味方とも拳銃、アーマーベストなど護身用レベルに装備が限定されますが、  
外ではスクイント・ウルフが狙撃体制を整えており、射線上(窓の外から見える範囲内)に立った者を狙撃します。  
知覚(3)に成功すれば向かいの建物にいる何者か(ウルフ)の姿を捉え、不意打ちへの対抗テストが可能です。  
あるいは覚醒者であれば、ウルフの背後にボロボロの禍々しい姿をした狼の導師精霊が見えるでしょう。  
いずれにせよ、この攻撃は仲間が撤収するまでの足止めであり、部位狙い「ダメージ分割」が適用されます。  
(対象を殺害ではなく負傷させて「足手まとい」を増やすのは軍の狙撃手がよく使う戦法です)

通報を受けたナイトエラントが現場に急行しているため、戦闘は長くとも1戦闘ターンで終了となります。  
撤収がかなわない襲撃者は自殺を図り、仮に生存しても有益な情報を引き出すのは難しいでしょう。  
彼らは帽子やサングラスで顔を隠し、身元を示すものも持っていませんが、  
死体を調べればネイティブであることが分かり、これは後の襲撃者に関する情報収集テストに+2DPされます。

シーフードレストラン「オータム・ウォーター」		凡例			
構造	装甲	施錠R	機器R		
●	監視カメラ	4	4	- 2	
■	テーブル	4	6	- -	
	扉	4	6	- -	
	ガラス窓	4	6	- -	
-	パーテーション	2	1	- -	
配置					
フ	フェイスPC				
PC	フェイスPC				
シ	シーファー博士(死亡)				
襲	襲撃者				
□	ロックヒル				

## 二度目の依頼

シーファー博士の死により依頼は失敗に終わりました。  
それから三週間が過ぎ、戦闘の怪我也癒えたころ(治療費は自腹です。クソツタレ)  
ヴィヴィアンからまた依頼についての話を持ちかけられ、ランナーたちは再び集まることとなりました。  
待ち合わせの場に現れた彼女はAR上にとある広告を表示します。それは以下のようなものです。

---

告知: ジョン＝シーファー博士の遺品オークション開催  
昨日、無念にも凶弾に倒れたネイティブアメリカン研究者、ジョン＝シーファー博士。  
当オークションは博士の逝去を心から悼むとともに、失われたものの大なるを痛感いたしております。

(中略)

——生前の博士の意向に則り、そのコレクションをオークションに出品いたします。  
経費を除いた収益は全額ネイティブ・アメリカンの文化保全運動に寄付されます。

クリスティーズ・シアトル 競売人: アーチー＝フランシス

---

「三日後、ダウンタウンのクリスティーズで博士の遺品が競売にかけられます」  
「ケープが他人の手に渡ればまた誰かが死ぬかもしれない。ナイト・オルカの名をこれ以上血で汚すわけにはいかない」  
「もう一度”あなた”をお願いします。どうか私の一族の宝を取り返してください」

### ■ 以来の詳細

ランナーが依頼を受けるのであれば、より詳細な情報が明らかとなります。

- ・オークションは三日後の夜、ダウンタウンの老舗オークションハウス「クリスティーズ」で開催される
- ・博士のコレクションは欲しがる物が多く、特に激しい競争が予想される
- ・予算は200,000新円。これは入札およびオークションまでの各種準備のための資金を含めた金額である
- ・報酬は一人15,000新円。加えて予算の残額の5%をチームに対してマージンとして支払います  
ケープを落札した後は速やかにフォックス島にある彼女のアトリエで引き渡しを行う

### ■ 襲撃者に関して

ネイティブアメリカンの過激派が関係していることが知らされます。

「私が白人…この際入植者と呼びますが、彼らに金を払って部族の宝を取り戻すのを快く思わない人たちがいます」  
「特に、ゴーストダンス独立戦争を寝物語のように聞かされた若い世代には…」

### ■ 報酬交渉

落札差額の10%までマージンの引き上げが可能です。  
またケープ以外の競売品を落札した場合、彼女がサーリッシュシー当局に購入をかけあってくれます。  
マージンは相場価格の10%。いずれも足のつく代物ですので、ランナー個人での売買は不可能となります。

## 事前情報

1度目の依頼で面子を潰されたランナーが、襲撃者を個人的に調査している場合もあるでしょう。  
事前に「情報表3-1: 襲撃者」に関する情報収集を行わせても構いません。  
またスクイント・ウルフの狙撃によりダメージを受け、コンタクトに治療を依頼した場合は以下の情報が手に入ります。

- ・狙撃に使われた弾丸は手製の水銀弾頭。命中時に外殻が潰れて中の水銀が飛び散り、炸裂弾に近い効果を与える。  
管理などの扱いが面倒な代物のため、ほぼ間違いなく個人の制作物。
- ・魔法理論が未発達な時代、銀の銃弾は怪物殺しの代名詞として扱われていた。転じて奥の手や切り札とも。  
起源は西洋文化だが、銀細工の伝来以降は一部先住民も銀を魔除けの象徴として扱っている。
- ・「雄弁は銀、だったか？」(フェイスが治療を受けた場合はこんな軽口を交えるとテーマに沿う…かもしれない)

弾丸の情報はスクイント・ウルフを調査する際にDP+2のボーナスを与えます。

## ネイティブ・アメリカン・ネーションズ(Native American Nations)

2018年の「デンバー条約」によって成立した、ネイティブアメリカンが統治する連邦国家。北米大陸西部の大部分を占め、“合衆国の飛び地”シアトルを擁するサーリッシュ・シー評議会も構成国家の一つ。

部族主権の評議会制度を採用し、現代技術とネイティブアメリカンの伝統が融合した独自の文化を築いているが、科学を捨てた古い生活様式を守る部族も存在する。

白人をはじめとした少数の他民族住民に対する人種差別が横行し、居留地での生活を余儀なくされる一方、金で血統を買った、いわゆる「ピンクスキン」族が人口構成の一部を担うなど、やや歪な一面も見られる。

## アメリカ分裂の発端 ～ローン・イーグル事件～

2000年代初頭、ネイティブアメリカン自治区に埋蔵する地下資源を狙って企業が土地の買収を強行。これに反発した過激派の「ソプリン・アメリカン・インディアン運動(SAIM)」が米空軍のミサイル基地に侵入し、政府および企業を脅迫する事件が起きる。交渉は決裂し、特殊部隊の突入によって犯行グループは全員射殺。制圧のさなか、ロシア共和国を標的としたローン・イーグルICBMが発射されるも、寸前で撃墜され事なきを得た。

事件後、アメリカの世論は反ネイティブアメリカンへ傾き、企業の扇動によってその動きはさらに加速。2010年には悪名高い「再教育・移転法」が成立。ほぼ全てのネイティブアメリカンが抑留されることとなった。

## ゴーストダンス戦争(Ghost Dance War)

2014年から2018年にかけて起こったネイティブアメリカンによる独立紛争。(よって、UCAS国民の間では「ゴーストダンス暴動/反乱」とも呼ばれる)「覚醒」によっていち早く魔力を取り戻したネイティブアメリカン諸族が指導者ハウリング・コヨーテの下に蜂起し、旧合衆国およびカナダから北米大陸西部を勝ち取った。

第六世界史上初めて魔法使いが大量投入された戦争であり、勝敗を決定づけた強大な儀式呪文「グレート・ゴーストダンス」(カスケード山脈にある活火山の一斉噴火)に因んで命名された。

## フォックス島(Fox island)

ピュージェット湾に浮かぶシアトル領の島々「ウトラメール」(フランス語で「外地」の意)のひとつ。シアトル有数の自然豊かな土地であり、不便のない程度に都市化もされている。島の南北にサーリッシュ・シー、およびタコマへと続く大橋が架かっており、両国の大動脈としての役割を担う。

開拓時代より現代に至るまで入植者と先住民との間で争いの絶えない土地であり、1800年代のピュージェット湾戦争ではネイティブの居留地として、そして200年後のゴーストダンス戦争中には強制収容キャンプとして利用された。

デンバー条約の締結でUCASの領土となると住民の多くが島を去ったが、一部は分離運動に身を投じ、こうした複雑な経緯をたどった結果、現在ではNAN-UCAS双方の飛び地のような状態となっており、シアトルに仕事を持つNAN国民など多くの国外居住者が定住している。

# シーン2:レグワーク

## 進行について

オークションは3日目の20:00(「夜」フェーズ)より開催されます。

進行を単純化するため、1日を「朝」「昼」「夜」の3フェーズとし、各フェーズで1回ずつ行動宣言を行えるものとします。休息(睡眠)には1フェーズを消費しなくてはなりません。ただし「制眠器」を持つキャラクターは必要時間が半減し、あまり時間のかからない行動(GMの裁定)なら同時に行うことが可能です。

いずれにせよ、直前の休息から3フェーズ(24時間)が経過した時点で、すべての行動に-2のペナルティが発生します。ロングホールなどの薬物を使えば睡眠を取らず行動が可能ですが、エッジの回復はありません。

## シーン2-1:情報表

### 1.オークション

開示条件:なし

対応コンタクト例:企業、商人、上流階級、メディア

対応技能例:企業、実業、美術品、マーケット、地域知識(シアトル)

コネ	検索	情報
1	3	オークション会場はダウンタウン中心部にあるオークションハウス「クリスティーズ」。18世紀ロンドン発祥の由緒あるオークションハウスだ。展示施設が併設されており(VR上に本物を模したホストもあり)一般見学も可能だ  <b>オークションカタログ入手可能</b> <b>オークション参加者の情報収集可能</b>
2	6	オークションハウスは物理的、魔法的、そしてマトリックス的にも極めてセキュアで、いわゆる“蟻の這い出る隙もない”警備体制が敷かれている。  ・火器やサイバーリムの類は入館時に厳重なチェックを受ける ・オークション参加者および護衛は申請すれば拳銃の傾向が許可されるが、スキャナーによる免許のチェックが実施される
4	15	詳細な警備体制が判明する。また先のシーファー博士の一件から警備が増員されていることが分かる  <b>シーン3の「セキュリティ」の項参照</b>

### 1-2.ナイト・オルカのケープ

開示条件:なし

対応コンタクト例:ネイティブアメリカン、研究者、タリスマンガー

対応技能:ネイティブアメリカン、美術品、マーケット

コネ	検索	情報
1	3	シャーマンであり戦士であったヴィヴィアンの祖先「ナイト・オルカ」が身にまとっていたケープ。開拓時代に入植者の手によって奪われ、長らく行方知れずとなっていた。マウンテンゴートの毛織物を鮮やかな朱と黒に染め上げ、トーテムであるシャチの抽象画が編み込まれている。歴史的価値のある魔法物品であり、今回の競売品の目玉となるだろう
2	6	口伝によれば、ナイト・オルカはこのケープを纏うことで悪しき精霊や怪物の目から己の姿を隠したという。プレマートン近郊には彼にまつわる似たような伝承がいくつか残っており、ハーグの一族はちょっとした名士として扱われている
3	12	魔法鑑定士の分析によれば、このケープは【フォース】2相当の魔力収束具だ。ただし伝承にあるような結合者の隠蔽効果は持っていないようだ

## 2.ヴィヴィアン＝ハーグ

開示条件:なし

対応コンタクト例:企業、タリスマンガー、メディア、服飾関係者

対応技能:ネイティブアメリカン、服飾、企業、魔法理論

コネ	検索	情報
1	3	大手アパレルメーカー「ヴァンション・アイランド」の売れっ子デザイナー。コストサーリッシュ(シアトル・バンクーバー島の沿岸部に生活圏を持つサーリッシュ族)の出身で、現在はシアトル領フォックス島のアトリエで生活している。部族に伝わる織物技術や銀細工を応用したデザインが人気を博している
2	6	ネイティブとしての名は「フォレスト・フォーン」(森の子鹿)。メディスンマン(祈祷師)の資格を持つミスティックアデプトであり、島内のネイティブに請われて祈祷を折り行うことがある。治療系の身体呪文と呪物の作成に秀でるが、戦闘能力は一般人と大差ない
3	12	魔法的な特異体質のようで、「V-I」の親会社であるミツハマへ治験データを提供した記録が残っている。彼女の才能は疑うべくもないが、その才能が見いだされたのはこうしたメガへの献身の賜物だろう。ミツハマとしては、少なくとも彼女の才能が枯れるまでは実験動物にするつもりはなさそうだ
4	18	彼女の特異体質はオーラや霊紋にまつわるもので、どうやら遺伝的な要因らしい。ハーグの一族はハンターや軍人が多かったが、ヴィヴィアンは身体的な素養には恵まれなかった

## 3-1.襲撃者

開示条件:なし

対応コンタクト例:ネイティブアメリカン、犯罪組織、軍関係、ストリート

対応技能:ネイティブアメリカン、犯罪組織、軍事、ポリクラブ

コネ	検索	情報
1	6	「スクイント・ウルフ」を中心とするサーリッシュ・シー評議会出身の青年グループ。ゴーストダンス戦争を寝物語に聞かされて育った彼らは、白人に奪われたものは力で取り返すべきと考えている
2	9	構成人数は10名弱で元軍関係者が多い。思想や素行の面から軍はおろかポリクラブですら持て余した“はみ出しもの”の集まりである <b>主要メンバーのプロフィール判明</b>
3	12	少人数・複数ルートからシアトル入りしており、オークションまでに足跡を追うのは困難。警察およびオークションハウスは状況を把握していないものの、先のシーファー博士の事件を鑑み、当日の警備を強化する予定だ
4	18	SSCキットサップ海軍基地で海兵隊員による装備品の横流しが発覚。自殺した容疑者とウルフらとの間に交流のあったことが確認された。所在が特定できていない装備は下記の通り アレス・デザートストライク*1、アレス・バリエーション*1 カメレオンスーツ*1、フルボディアーマーズ式*1 ライオットシールド*1

## 3-2.スクイント・ウルフ

開示条件:情報3-1を第1段階まで開放

対応コンタクト例:ネイティブアメリカン、軍関係等、スマグラ

対応技能例:ネイティブアメリカン、軍関係、ハンター、密輸ルート

コネ	検索	情報
1	6	サーリッシュ・シーの退役軍人で覚醒者。最終階級は二等軍曹。優秀な狙撃手だったが、白人軽視など思想・素行面に問題があったとされる。73年にシアトル国境で白人のスマグラと交戦。爆発物によって利き腕欠損の重症を負い、傷病退役。現在は故郷ブレマートンで義手のハンターとして生活している。退役直後から白人蔑視の傾向が一層顕著になり、似たような過激思想の仲間と付き合いはじめた
2	9	一月前に自宅を出たきり消息不明。自宅の作業場から水銀弾頭の製造痕跡と「我こそが戦士なり」なる書き置きが見つかった。知人の証言によれば失踪の直前は大変激昂した様子で、地元の名士ヴィヴィアン＝ハーグを“極めて激烈に”罵倒していたという
3	15	先祖返り(スロウバック)処理を施したデザートストライクを愛用していた。また先述の戦闘で死亡した相棒の観測手からは「覚醒者殺し」と呼ばれていた
4	18	退役直後、「国家と部族への忠誠を讃えて」ヴィヴィアン＝ハーグより支援の申し出があったが、これを固辞している

## 4-1.ピンクスキン族の実業家

開示条件: 情報1を第1段階まで開放

対応コンタクト例: フィクサー、企業、メディア、ネイティブアメリカン

対応技能例: ネイティブアメリカン、不動産、企業、地域知識(SSC)

コネ	検索	情報
1	1	氏名: "グレイ・イーグル" ドワイト=ウォーケン 種族: ヒューマン 性別: 男性 年齢: 43 ドイツ系とスー族の混血(自称) スー国内で外国人向けのホテルチェーンを運営する実業家。スー族の家系に連なると自称しているが事実とは異なる。辣腕でワンマン、自己顕示欲が強く派手なことを好む典型的な経営者像の人物だ
2	6	予算額は400,000~700,000新円(推定) ※達成値に応じて推定範囲をより狭めること <b>オークション傾向を公開</b>
3	12	<b>パーソナリティを公開</b>

## 4-2.ヤックのオヤブン

開示条件: 情報1を第1段階まで開放

対応コンタクト例: 警備企業、犯罪組織、ブラックマーケット、ストリート

対応技能例: 警備企業、犯罪組織、ストリート、地域知識(シアトル)

コネ	検索	情報
1	1	名前: プンゾウ=タジマキ 種族: ヒューマン 性別: 男性 年齢: 68 日系 外隔組系の下部組織「タジマキ組」のオヤブンで、腕っぷし一つで成り上がった典型的なヤクザ。武断的で敵対者には容赦がない
2	9	予算額は300,000~500,000新円(推定) ※達成値に応じて推定範囲をより狭めること <b>オークション傾向を公開</b>
3	12	<b>パーソナリティを公開</b>

## 4-3.私設博物館の館長

開示条件: 情報1を第1段階まで開放

対応コンタクト例: 美術関係、メディア、ネイティブアメリカン

対応技能例: 美術品、メディア、地域知識(シアトル)

コネ	検索	情報
1	1	氏名: コンスタント=エメット 種族: ヒューマン 性別: 男性 年齢: 53 イタリア系白人 シアトル・ダウンタウンの私立博物館「ウィム(気ままな)・ミュージアム」の館長。キュレーターとしての実力をオーナーに見込まれ、館長職に就いている。公明正大で知られる人物で政治信条はややリベラル寄りである
2	6	予算額は200,000~400,000新円(推定) ※達成値に応じて推定範囲をより狭めること <b>オークション傾向を公開</b>
3	12	<b>パーソナリティ(後述)を公開</b>
4	15	「ウィム・ミュージアム」のオーナーは公の場に姿を表すことが極端に少なく、人物像がいまいち不明。巨万の富を持つ大富豪で、博物館経営はあくまで道楽の一つに過ぎないとされる

# シーン3:事前準備

## 概要

オークションの参加者たちはヴィヴィアンよりも遥かに潤沢な予算を有し、本来であれば勝ち目はありません。当日までの下準備で彼らが見える予算を減らしたり、別の競売品に注目させたり…あるいは直接的な脅迫も可能です。この章では各参加者の交渉難易度やパーソナルデータ、行動パターン等の諸設定を記載していきます。

## 交渉関連ステータス

競売に参加する各NPCには、それぞれ「予算」「戦力」「鑑定眼」が設定されています。

### ■ 交渉関連ステータス

予算:競売全体で使用可能な予算

戦力:トラブルが起きた際に、同値の【プロ意識】を持つ戦力を投入可能

鑑定眼:品物の価値を見定める各種知識技能のうち、最も高いDP(詳細はNPCデータ)

## どのように

どのようにしてライバルを蹴落とすかはランナーの想像力次第ですが、以下にいくつかの例を挙げます。

### ■ 予算を浪費させる

彼らは(一部を除いて)ドラゴンではありませんので、その富は決して無限ではありません。

美術品で身持ちを崩すようなバカもいません(なんたって成功者ですから)。

よって、あらかじめ準備した予算を切り崩すのは極めて有効な手段です。

### 偽物(あるいは他に欲するもの)を売りつける

価値ある美術品の贋作、あるいは美術品以外に相手が欲しがるものを用意し、当日使える予算を減らします。

この方法はランナー側の予算も同時に増やせるメリットがあります。

互いの<偽造>技能、あるいは真贋を判断するための<美術品鑑定>技能との対抗テストになります。

本物と思い込ませた後、どれくらいの値がつくかは物の価値と交渉次第でしょう。

目安として、制作物の価値を2万新円ごとに<偽造>にDP-1、<交渉>判定は相手の総予算5%ごとにDPに-1とします。

### 弱みを握る

彼らは社会的地位のある人々です。スキャンダルを避けるためなら驚くほどの大金を払うでしょう。

もちろん、その金が別のランナーに支払われる可能性は考慮しなくてはなりません。

保険を用意せずいたずらに相手を脅した場合、【戦力】に等しいプロ意識のNPCが襲撃してくる場合があります。

### ■ 誤情報を流す

競売品の価値についての偽情報を事前に流布します。

噂の内容は品物の真贋であったり、価値を盛るような逸話であったり、目的に応じて様々です。

判定技能としては美術品関連の知識技能、あるいはブラックマーケット等に関連するコンタクトのコネ値\*2、

あるいは(噂を流す)特定のコミュニティに関する知識技能などがふさわしいでしょう。

ヒット数と同じだけオークション当日の「鑑定眼」テストにペナルティを与えたり、相場を釣り上げる事が可能です。

噂が広まるにはある程度の時間が必要です。判定を実行した時点での残り日数がヒット数のリミットとなります。

### ■ 欠席/遅刻させる

オークションはマトリックス経由でも参加可能ですので、正確には会場入りを阻む/遅らせる形となります。

AR越しでは自慢の目利きも完璧とはいけなくなります。「鑑定眼」テストに-2のペナルティを与えてください。

### ■ 殺害する/傷つける

依頼人の話を聞いていましたか? ランナーとしての信用を失い、警察の介入を許し、激しい報復に晒されます。

# シーン3-1:ピンクスキンの実業家

## 概要

名前:“グレイ・イーグル”ドワイト=ウォーケン (Dwight Walken)  
種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:43 人種:ドイツ系とスー族の混血(自称)

### ■ 交渉関連ステータス

予算:450,000  
交渉技能:12(初回14) 戦力:4 鑑定眼:6

## 詳細

スー国内で外国人向けのホテルチェーンを運営する実業家です。  
スー族の家系に連なると自称していますが事実ではありません。  
辣腕でワンマン、自己顕示欲が強く派手なことを好む典型的な経営者像の人物です。

### ■ オークション傾向

家格の箔付けにネイティブ(特にスー族)にまつわる品物を片っ端から買い漁る傾向があります。  
NAN諸国において彼のような自称ネイティブの一派は“ピンクスキン族”と揶揄されており、  
市民権こそ保証されていますが、他の氏族からは低く見られがちなためです。  
美術品それ自体にはあまり興味がなく、目利きもいまいちです。

### ■ パーソナリティ

複数回の離婚歴を持ち、モデル出身の現婦人以外にも複数の愛人を侍らしています。  
事業においても強引な点が目立ち、ホテル建設に関する土地トラブルや建設基準法の違反疑惑もあります。  
しかしながら、彼は凄腕の顧問弁護士を雇っており、自身も大変弁が立ちます。  
また自身の悪評を払拭すべくネイティブや貧困層に対する慈善活動にも熱心です。  
現在、彼はダウンタウンの高級ホテルに滞在しています。  
どうやらオークションのついでに海が見える別荘を探しているようです。

## 「事前準備」の一例(テストプレイより抜粋・改変)

ランナーチームはコンタクトを通じてウトラメールの別荘を用意し、ドワイトに転売することとした。  
相場の250,000新円より安い200,000新円で彼好みの邸宅を購入し、交渉に臨む。

「この建物は53年竣工ですな。UCASの建築法改正は確か55年。以前は酸性雨の対策基準がかなり緩かった」  
「ましてや、湾に面したこの建物は見た目以上に傷んでいる可能性が高い」

ドワイトの発言に対してランナーは関連知識技能を振り、法改正が51年であることを指摘する。

「おお、これは私としたことが！年は取りたくないものですな」

ドワイトのカマかけをかわし、値切る口実を与えずに価格交渉に移ったランナーたち。  
別荘購入のため予算200000新円に対して、相場通りの245,000新円を要求する。  
差額の45,000新円はオークション予算の10%にあたるため、交渉判定に-2DP。  
要求価格自体は別荘の相場を逸脱するものではないため、これ以上のDPペナルティは発生しない。  
<交渉>の対抗テストを行った結果、ランナーたちは見事250,000新円で別荘を売りつけることに成功した。

ドワイトは足が出た分の45,000新円をオークション予算から補填し、残りは405,000新円となった。  
対してランナー側の予算は245,000新円に増えたが、未だ160,000新円の差がある。  
さらに何らかの取引を持ちかけるか、オークションでケーブル以外の競売品を160,000新円以上で  
落札するよう上手く仕向けてやる必要がある。

## シーン3-2:ヤックのオヤブン

### 概要

名前:ブンゾウ=タジマキ (Bunzou Tajimaki)  
種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:68 人種:日系

#### ■ 交渉関連ステータス

予算:350,000  
交渉技能:8 戦力:3 鑑定眼:10(武具は+2)

### 詳細

シアトルに拠点を置く「ソズミ組」の下部組織「タジマキ組」のオヤブンで、腕っぷし一つで成り上がった叩き上げのヤクザです。武断的で敵対者には容赦がありません。

#### ■ オークション傾向

ヤクザらしく武具などの戦いにまつわるものを好みます。美術品に手を出すようになったのは現在の地位を得てからですが、意外な鑑定眼を発揮して周囲を驚かせました。

#### ■ パーソナリティ

殺人、脅迫、違法取引と、叩けばいくらでも埃の出る人物です。他方、あくまでもヤクザという巨大組織の一員であり、上役やキョウダイの意向を無視出来ない立場にあります。現在、タジマキ組はタコマにおける抗争の矢面に立ち、ヴォリー(ロシアンマフィア)など軍隊色の強いマフィアに対抗するための戦力の増強が急務となっています。

※ランナーのコンタクトにコネ値4以上のヤクザがいる場合、便宜を図ってもらうことも可能です  
謝礼は20000-(5000\*忠実値)新円程度が妥当でしょう

### 「事前準備」の一例(テストプレイより抜粋・改変)

#### ■ 抗争を煽る

タジマキ組がヴォリーと抗争の真っ最中という情報を得たランナーたちは、火に油を注ぐこととした。組のホストに侵入して得た情報をロシア人達に流し、攻勢に出てもらおうのだ。タジマキ組のホストレーティングは4。チームのデッカーにとっては朝飯前の仕事だ。ノイズを避けるため、組の事務所に近い個室トリデオ店からホストへの侵入を図る。

果たしてハッキングは成功し、幹部の直近の行動スケジュールを手に入れることができた。当初の予定通りヴォリーに売ってもいいし、あるいはハッキングされたという事実だけでも十分な脅しになる。組長もオークションを欠席するか、武器の調達に予算を割かなければならないだろう。

いずれにせよ、怪しいランナーが組の周りをうろついていたと知れば後々面倒なことになる。デッカーは<忍び足>で目立たないようにタジマキ組の縄張りを後にした。

#### ■ 見返りを提供する

ランナーの一人がコンタクトのヤクザを通じてタジマキと一席設けたいと申し出た。ヤクザのコネ値は4。仲介役としては問題ないレベルだ。

タジマキとの面通しに成功したランナーは迷わず切り札を切る。ケープの争奪戦から下りてもらった代わりに、UCAS州軍の装備管理係を紹介すると持ちかけたのだ。

有益な取引とはいえ、一介のランナーからの提案に二つ返事ができるほど組長の名前は安くはない。-4DPの厳しい<交渉>となるが、ランナーは見事この対抗テストを成功させた。

## シーン3-3:博物館の館長

### 概要

名前:コンスタンス=エメット (Constance Emmett)  
種族:ヒューマン 性別:男性 年齢:53 人種:イタリア系

■ 交渉関連ステータス  
予算:320,000  
交渉技能:7 戦力:特殊 鑑定眼:14(ネイティブアメリカン関連+2)

### 詳細

シアトル・ダウンタウンの私立博物館「ウィム(気ままな)・ミュージアム」の館長です。キュレーターとしての実力を博物館のオーナーに見込まれ、館長職に就きました。公明正大で知られる人物で政治信条はややリベラル寄りです。

■ オークション傾向  
ネイティブアメリカンにまつわる展示を充実させたいと今回のオークションに名乗りを上げました。学術的な品物を重視しますが、集客力の高い＝分かりやすい展示物も求めています。「ウィム・ミュージアム」は北米大陸入植期から「覚醒」以降のアメリカ史をメインテーマとした博物館で、ネイティブやメタヒューマンといったマイノリティの文化を中心に力を入れています。

■ パーソナリティ  
既婚者で、キュレーターを目指す大学生の息子がいます。親子仲は良いのですが一時期非行に走っていた時期があり、ブリスの不法所持で勾留されたことがあります。このとき、エメットは警官に袖の下を送って事件を揉み消しました。

■ オーナーの登場  
エメットへの干渉は他よりも慎重に行わなくてはなりません。博物館のオーナー「カイリス」は気まぐれなドラゴンで、退屈しのぎの相手を探しています。

### 博物館のオーナー「カイリス」

名前:カイリス (Kairys)  
種族:ウェスタンドラゴン 性別:男性 年齢:不明 人種:人間時の姿は北欧系

■ 交渉関連ステータス  
予算:無尽蔵  
交渉技能:18 戦力:6 鑑定眼:12

### 詳細

エメットに対して敵対的な交渉を行った場合、オーナーであるカイリスがオークションに参加します。彼はランナーたちが落札しようとする品物に片っ端から入札し、その財力は底なしです。入札の際の〈虚言〉〈パフォーマンス〉の対抗テストで一度でもカイリスを負かすことができれば、この気まぐれなドラゴンはランナーたちの利用価値を認め、華を持たせてくれるでしょう。

GMはセッション進行のための舞台装置としてこのドラゴンを引っ張り出しても構いません。(アポを取りそこねたランナーとオークション参加者を引き合わせる、など)ランナーが極端に敵対的な行動に出ない限り、彼は面白くなりそうな方向にランナーたちを誘導しようとします。

## 「事前準備」の一例（テストプレイより抜粋・改変）

---

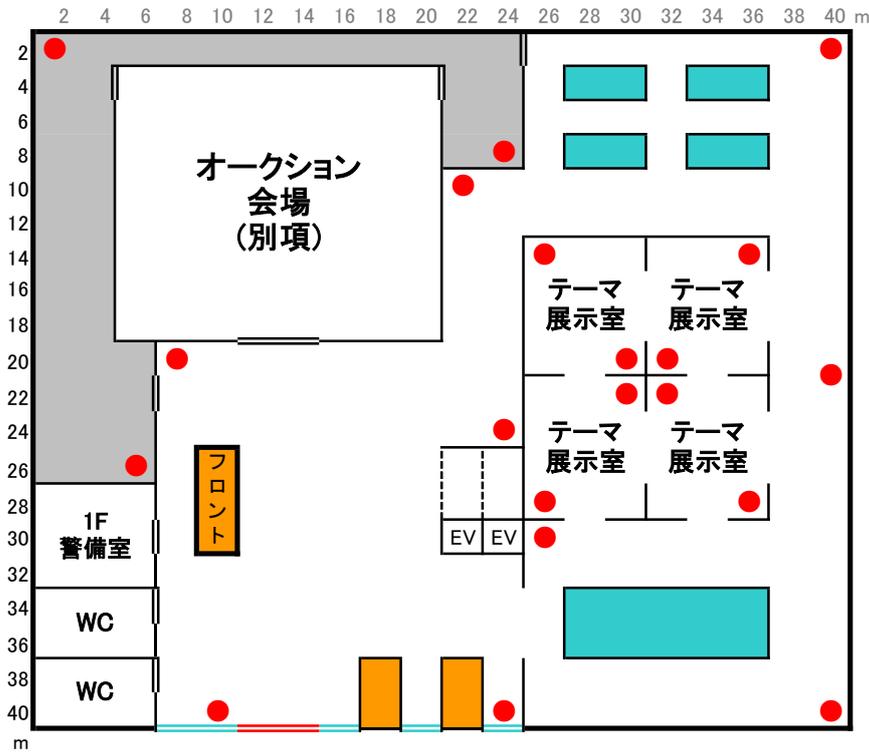
ランナーチームはエメットが警官に賄賂を送った過去を調べ上げ、それをネタに彼を脅そうと考えたが、背後にいる大物を警戒して、いくらかの見返りを用意することにした。オークションへの不参加を条件にコネ値4の美術品コレクターを紹介すると、エメットは渋々ながらこれを承諾した。元より彼に要求を断る術はないのだ。

エメットが脅迫を受けた、という話はすぐさまオーナーであるカイリスの耳に届いた。これがただの強請であればキツくお灸を据えてやるどころだが、どうやら少しは後先を考えているらしい。彼はランナーについてまたたく間に調べ上げ、スクイント・ウルフとの因縁に目をつけると、物語にちょっとしたドラマを添えるため、チームの一人をさらってプレマートンにあるウルフの生家へ招待したのだ。彼女はそこに残されたものから、ウルフの内に眠る黒い感情、ひいては依頼人の血縁関係にも気づくかもしれない。周囲のマナに溶け込むというオルカの一族の特徴についてはどうだろうか？

いずれにせよ、彼らにどれほど利用価値があるかは実際に試してみないとわからない。そう判断したカイリスは身支度を整え、オークション会場へと向かう。

# シーン4:オークションハウス

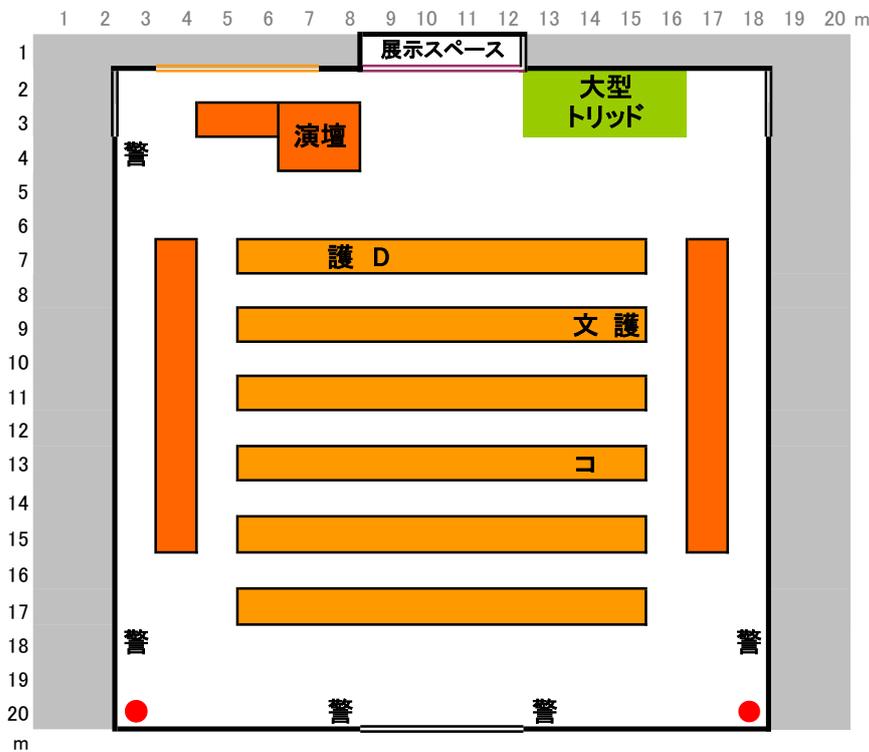
## クリスティーズ



### 凡例

	構造	装甲	施錠R	機器R
● 監視カメラ(隠蔽)	-	-	-	4
■ スタッフスペース	-	-	-	-
■ テーブル	4	6	-	-
■ 展示ケース	8	12	-	-
扉	6	8	-	-
扉 (スキャナ付)	6	8	-	4
ガラス窓	4	6	-	-

## オークション会場



### 凡例

	構造	装甲	施錠R	機器R
● 監視カメラ(隠蔽)	-	-	-	4
■ スタッフスペース	-	-	-	-
■ 客席	4	6	-	-
■ スタッフ席	4	6	-	-
扉	6	8	-	-
モニター	4	6	-	4
暗幕	1	0	-	-

### 配置

- D ドワイト=ウォーケン
- 文 タジマキ=ブンゾウ
- コ コンスタンス=エメット
- もしくはオーナー
- 護 各NPCの護衛
- 警 警備員

# クリスティーズ

クリスティーズは18世紀ロンドン発祥の由緒あるオークションハウスで、さながら小さな美術館のような雰囲気です。見学は無料で、当日出品予定の競売品が(極めて厳重なセキュリティの下)事前展示されています。全ての展示品はAR上で概要、来歴、最低入札額の確認ができます。

## セキュリティ

### ■ 所持品制限

入館の際にはレーティング7のサイバーウェア・スキャナー(ミリ波探知スキャナー)を通過し、フロントで荷物検査を行い武器の類を一時預けなくてはなりません。サイバーウェアには起動を感知して警報を鳴らすセンサータグが取り付けられます。アーマージャケット等の目立つ防具も警備の注目を集めるでしょう。

### ■ 監視カメラ

館内の至るところに隠蔽(知覚テスト目標値2)タイプの監視カメラが設置されています。赤外線および低光量補正機能搭載型です。全ての展示品は常に2つ以上のカメラで監視されています。

### ■ 展示ケース

展示ケースは全て装甲ガラス(構造値8/装甲値12)製です。スタンドアロンで、管理/警備責任者の生体認証およびランダムに変更されるパスコードで施錠されています。緊急時にはシェード型の装甲板に覆われ構造値および装甲値が2倍となります。

### ■ 魔法警備

フォース4のマナ障壁が建物を覆い、管理者のメイジが常に状態を確認しています。正装したフォース4の人の精霊がアストラル体で館内を巡回しています。

### ■ 警備員

警備員は専門の警備企業から派遣されており、メイジおよびスパイダーが加わっています。通常は拳銃とアーマージャケットで武装し、緊急事態にはサブマシンガンの使用が許可されています。通報があった場合、1D6分以内にナイト・エラントのHTR(高度脅威対応)チーム1個分隊が到着します。

オークション会場はドレスコードが指定されています。会場内ではブラックスーツに身を包んだ警備スタッフの他、精霊が会場内を監視し、操作呪文をはじめとした魔法的な不正を常にチェックしています。警備員を含めた全職員が十分な教育と給与を受け取っているため、袖の下も通じづらくなっています。

## ホスト

クリスティーズのホストは実際の建物の位置にあり、内部構造も実物を模しています。電子データで作られた展示品を見学したり、VR経由での競売参加も可能です。

### ■ マトリックス・セキュリティ

警備システムをはじめ、館内の重要な機器はホストにスレーブ化されています。極めて重要な顧客/秘匿性の高い競売品のデータはアーカイブに保管され、外部からのアクセスが制限されています。

ホスト:レーティング9

アタック:9 スリーズ:10 データ処理:11 ファイアーウォール:12

セキュリティ対応:

常時:パトロール

1ターン目:タールベイビー

2ターン目:プローブ

3ターン目:トラック

異常が検知されると即座に専属のセキュリティ・スパイダーがホスト内にログインします。

## シーン4-1:競売開始!

### 描写

「本日はようこそお越しくださいました」  
「開催に先立ち、故シーファー博士の冥福を祈り、黙禱を捧げたいと存じます。ご起立ください」

(黙禱)

「ありがとうございます」  
「…それでは、ただいまよりオークションを開催いたします！」

### オークションの流れ

オークションは伝統的な方式を守りつつ(木槌の音も健在です)、ARが併用されています。入札の際は挙手で係員を呼び入札額を耳打ちするか、ARで直接入札額を提示します。AR上には現在の入札額および入札者、競売品のアラウンド・ビュー、概要、来歴等のデータが表示されます。VRもしくはARグローブがあれば実物に近い触覚も得られます。

競売品が提示されるごとに、各NPCは「鑑定眼」テストで品物の価値を判断します。目標値に届かなかったヒット数の分だけ入札時に起こる交渉判定にペナルティが与えられます。いずれのキャラクターも事前にカタログを読み、あらかじめ予定しておいた入札額まで入札を続けます。

#### ■ 駆け引き

ランナーは自身の入札の際に<虚言><パフォーマンス>等のテストを試み、ライバルたちに心理戦を挑むことができます。予算を実際よりも多く見せて入札から下ろしたり、「もうひと押しで競り勝てる」と思わせ余分な予算を使わせるのです。この判定には通常の交渉テストと同じダイスプール補正が適用されます。またその品物をどれほど欲しがっているかによって、入札を下りづらく、予算を使いすくなります。いずれにせよ、技能テストが宣言された際は目的をしっかりと確認しましょう。チームワークテストを行うことも可能です。逆に、ライバルたちがこうした技能でランナー側に揺さぶりをかける場合もあります。対抗に失敗したキャラクターは上記のテストに相手の純ヒット分のペナルティを受けることとなります。

「意図を図る」ことで相手が品物の価値を正しく判断しているかどうか、あるいは入札を続ける意志があるか判断することができます。魔法使いであれば相手の感情を読み取れる<霊視>でサポートすることが可能です。

#### 美術品の鑑定について

美術品には鑑定士による真贋の見極めから、最新科学を用いた年代測定まで様々な鑑定方法があります。ロールプレイング上の資料として、いくつか参考例を記載します。

##### ■ 学術鑑定

作者別鑑定:同一作者の他の作品と比較する

技術鑑定:その年代に存在しない製造技術が使われていないか確認する

##### ■ 科学鑑定

蛍光X線分析:試料にX線を照射し、スペクトルパターンから素材の年代や地域を特定する。非破壊鑑定

熱ルミネセンス年代測定法:土や岩石由来の試料を加熱し、スペクトルパターンから年代を特定する。

C14(炭素14年代測定):動植物に含まれる炭素14の減少率から素材の年代を特定する方法。非破壊鑑定

以下は第六世界にありそうな架空の鑑定方法です

霊視鑑定:作品に残されたオーラを分析する

AI鑑定:美術品データを蓄積したAIによる分析

## シーン4-2:競売品一覧

### 競売品一覧

スー族戦士のウォーボンネット 相場価格:100,000

ゴーストダンス戦争に従軍したスー族の戦士が身につけていた羽根冠

ゴーストダンス戦争前夜の手記 相場価格:40,000

「サン・ウォーカー」の署名でしたためられた筆者不明の檄文。政府への不服従と団結を訴えている

西部開拓時代の改造銃 相場価格:80,000

開拓時代後期のベストセラー、コルト社のウィンチェスターM1873。銃床にトマホークが取り付けられている

ナイト・オルカのケープ 相場価格:180,000

「ナイト・オルカ」が身につけていたケープ。シャチの抽象画が描かれている。今回のオークションの目玉

競売品	鑑定 目標値	相場価格	予定額			
			ウォーレン	タジマキ	エメット	カイリス
総予算	-	-	450,000	350,000	320,000	無制限
スー族戦士の ウォーボンネット	2	100,000	120,000	-	80,000	無制限
ゴーストダンス戦争 前夜の手記	4	40,000	-	40,000	50,000	無制限
西部開拓時代の 改造銃	3	80,000	100,000	110,000	-	無制限
ナイト・オルカの ケープ	1	180,000	230,000	200,000	190,000	無制限

※赤字は各参加者が最も欲しいと思っているもの

### スー族戦士のウォーボンネット

「大変に見事な羽根冠(ウォー・ボンネット)です。ゴーストダンス戦争に参加したスー族の戦士「レッド・ピック」が身につけていたもので、親族のいなかった氏から生前親交のあったシーファー博士に形見として贈られました」

立派なワシの羽とターコイズの丸石で装飾された羽根冠(ウォー・ボンネット)で、ゴーストダンス戦争に参加したスー族の戦士が身につけていたものです。ネイティブの部族指導者、あるいは勇猛な戦士のみが着用を許されたレガリアであり、あしらわれたワシの羽は持ち主の武勲の数を表しています。

開始価格:50,000新円

相場価格:100,000新円(ウォーレン:120,000新円 タジマキ:0新円 エメット:100,000新円)

「鑑定眼」目標値:2

### ゴーストダンス戦争前夜の日記

「2000年代初頭、パイユート族の若者達に宛てられた檄文です。筆者の特定には至っておりませんが、「再教育法」、そしてゴーストダンス戦争直前の彼らの心情を読み解くことができます。美術品とは言い難いものの、史料価値の高さは疑いようがありません」

「サン・ウォーカー」の署名でしたためられた筆者不明の檄文で、2000年代初頭のもので、ゴーストダンス戦争前夜、ネイティブアメリカンの民族運動が高まりを見せ始めた時期に、パイユート族の若者達に不服従と民族自決を促すもので、資料価値としてはまずまずです。

開始価格:10,000新円

相場価格:40,000新円(ウォーレン:0新円 タジマキ:40,000新円 エメット:50,000新円)

鑑定目標値:4

## 西部開拓時代の改造銃

「開拓時代後期のベストセラー、コルト社のウィンチェスターM1873ライフルです。保存状態は良好で実射も可能です。そして皆様すでにお気づきのことでしょうか、銃床に取り付けられたこのトマホーク！精緻なエングレービングにはそれだけで芸術的価値があります」

開拓時代後期のベストセラー、ウィンチェスターM1873ライフルです。44-40弾が付属しており実射可能です。銃身の先に彫金が施された鉄製のトマホークが取り付けられており、白兵戦に対応しています。

開始価格: 20,000新円

相場価格: 80,000新円 (ウォーレン: 100,000新円 タジマキ: 110,000新円 エメット: 0新円)

鑑定目標値: 2

## ナイト・オルカのケープ

「沿岸地帯のサーリッシュ部族——即ちコースト・サーリッシュは独自の織物技術を現代に遺しています。カウチン、タペストリーなどは、ここシアトルでは日常的にお見かけになられることかと存じます。当品はサーリッシュ族の勇者「ナイト・オルカ」がまとっていたとされ、西部開拓時代後期に入植者の手に渡りました。歴史的、芸術的にも大変価値のある逸品であります」

ハーグ家の祖先で勇者と呼ばれた戦士「ナイト・オルカ」が残したマウンテンゴートの毛織物です。朱と黒の生地に彼らのトーテムであるシャチの抽象画が編み込まれています。年月を経ても失われぬ威厳を感じさせ、かの戦士の遺したオーラを薄っすらと纏っています。今回のオークションの本命であり、多くの参加者が入札を狙っています。

開始価格: 100,000新円

相場価格: 180,000新円 (ウォーレン: 230,000新円 タジマキ: 200,000新円 エメット: 190,000新円)

鑑定目標値: 1

## ケープの落札に成功した

ランナーたちは目的の品を受け取り、ヴィヴィアンの待つフォックス島のアトリエへ向かうことになります

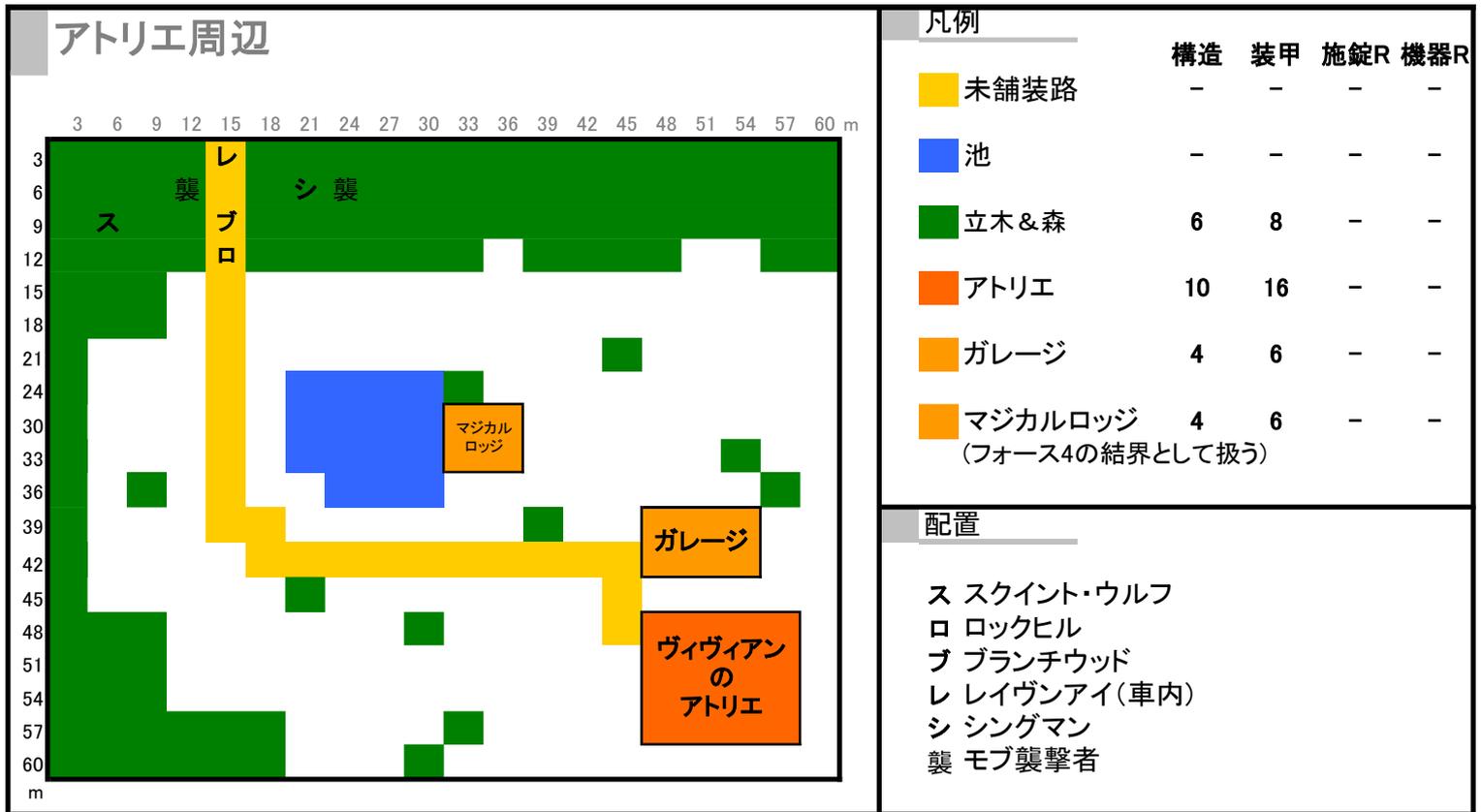
### ■ ケープ以外の落札品について

足がつきやすい代物であるためランナー個人で処分するのは困難です。ヴィヴィアンの伝手を頼ってサーリッシュ・シーに返還することで、相場価格の10%がマージンとして報酬に加えられます。(元手はヴィヴィアンが出していますので文句は言わないように)

## ケープの落札に失敗した

もしもケープの入札に失敗しても、諦めるには早すぎます。オークション後にケープの落札者と直接交渉して譲り受けてしまえばよいのです。無論非常に難しい交渉となりますが、相手が好む品物をこちらが落札していれば多少は楽になるでしょう。それも叶わなかった場合、スクイント・ウルフらがオークション会場を急襲。警察の介入まで破壊と強奪の限りを尽くします。

## シーン5:銀の弾丸を放つのは……



## 描写

ウトラメールの一つ、フォックス島はシアトルとサーリッシュ・シー間を結ぶ中継地の一つであり、メトロプレクスで最も自然豊かな場所の一つだ。島の南端、街灯もない森を抜けると、開墾地に建つコテージ風のアトリエが見えてくる。

## 詳細

アトリエではヴィヴィアンがランナーたちの到着を待っています。ケーブルを前に彼女は幼い子供を出迎えるような、あるいは肩の荷が下りたような安堵の表情を浮かべますが、それもつかの間、ウルフらの一党がケーブルを奪いにやってきます。

敵は3方向からアトリエを取り囲むようにして徐々に接近してきます。リーダーのウルフおよびサブリーダーのロックヒル両者が倒されるまで敵は戦闘を続けます。

### ブランチウッド、ロックヒル

重装備の2名は道なりに前進してきます。ロックヒルを盾にブランチウッドが制圧射撃を加え、十分接近した後は取り回しの良いアサルトライフルに持ち替えて中近距離戦に移行します。

### シングマン、グラント襲撃者\*1

森を東へ横断しながら適宜射撃と魔法による支援を行います。

### レイヴンアイ、グラント襲撃者\*1

森に停めたブルドッグ・ワゴン内でホットシムによるマトリックス支援に専念します。護衛およびランナーたちの逃走阻止のため、グラント襲撃者が一人護衛がついています。

### スクイント・ウルフ

味方とは別行動をとり、森を南下しながら狙撃を試みます。装備のワイヤレスをオフにしているためマトリックスからの探知は不可能で、所有するエッジを発見回避の〈忍び足〉および防御テストのために使用します。

## シーン5:エンディング

### 怪物は倒された

スクイント・ウルフは木立の中に斃れ、傍らに寄り添う狼の導師精霊も悲痛な遠吠えとともにかき消えました。

戦いが終わり周囲に静寂が戻ると、隠れていたヴィヴィアンがウルフの亡骸に歩み寄っていきます。  
バラクラバを脱がし、遺体の顔を確認すると彼女はしばし瞑目し…  
最後に、ナイト・オルカのケープを亡骸にかぶせ、サーリッシュ語の戦士を称える歌を捧げます。  
かくして銀の弾丸は放たれ、「怪物」退治は終わりを告げました。

その後、ヴィヴィアンの鬼気迫るような新作が上流階級の間を席卷することとなりますが…それはもう預かり知らぬ話。  
きらびやかな舞台を去り、ランナーたちは再び影の世界へ帰っていくのです。

### 報酬

#### 現金報酬(一人あたり)

- ・基本報酬: 15000新円
  - ・ケープの-margin: (予算の残額の5~10% ÷ チーム人数)
  - ・その他落札品の-margin: (相場価格の10% ÷ チーム人数)
- 合計: 20000新円

#### カルマ報酬

- ・基本報酬: +3
  - ・キャラクターが生存した: +2
  - ・ケープを落札した: +2
  - ・オークションを無事終わらせた: +1
  - ・ドラゴンと渡り合った: +2
  - ・オークションを楽しんだ: +1
- 合計: 11点

## NPCデータ

「NPCデータ(銀の弾丸を放つのは…)」のPDFシートを参照してください。  
([http://hinokura.sakura.ne.jp/SR5th/Who\\_will\\_shoot\\_the\\_Silver\\_Bullet\(Data\)00.pdf](http://hinokura.sakura.ne.jp/SR5th/Who_will_shoot_the_Silver_Bullet(Data)00.pdf))

## スペシャルサンクス

### テストプレイヤー (敬称略、五十音順)

---

カイエン / サグ / aaaa / zaknafein

## 参考資料

---

### ■ サイト

ShadowrunWiki <https://shadowrun.fandom.com/wiki/>  
第四第六世界資料室 <http://shadowrun.html.xdomain.jp/>

### ■ 書籍

第六世界の歩き方 <https://booth.pm/ja/items/1873141> (BOOTH掲載ページ)